

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3971000058
法人名	有限会社 沙羅
事業所名	GH やまもも
訪問調査日	平成 19年 8月 21日
評価確定日	平成 19年 11月 6日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3971000058		
法人名	有限会社 沙羅		
事業所名	GH やまもも		
所在地 (電話番号)	四万十市入田3557		(電話) 0880-37-5885

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	H19年8月21日	評価確定日	H19年11月6日

【情報提供票より】(H19年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 1月 23日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18人
職員数	15 人 常勤 13人, 非常勤 2人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物形態	併設/単独	新築/改築
建物構造	木造り平屋建て	
	階建ての	階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 82歳	最低	69歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹本病院・朝日歯科・山下眼科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは静かな住宅街に位置し、近くには小学校・保育園もあり、散歩にも適した場所となっている。広いフロアと、どこからでも見える中庭があり、木々を見ながらゆったり過ごせる。管理者は常に質の向上に真剣に取り組まれ、職員は利用者一人ひとりを大切に自分らしく生活ができるよう取り組まれている。そして、「人生の先輩として敬う気持ちで日々共に生活している」という理念どおり、利用者職員との笑顔が、とても印象に残ったホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で見出された課題は、ミーティングで報告し、全職員のホーム会で内容を検討し改善計画を立て取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員出席のホーム会で、外部評価の意義及び自己評価について話し合い取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議のおもな討議内容及びそれを生かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2か月に1回会議が開催され、行政・地域包括支援センター・地区会長・民生委員・家族が参加し、会議内容もきちんと記録している。会議では事業所の報告が主であるが、地域との交流が次第に深まり、地域の運動会に参加したり、事業所での納涼祭等の案内をしたりしている。また地域包括支援センターからの依頼を受け、ホームで地域の方たちと共に筋力アップ体操をしている。今後は、運営推進会議の中で外部評価の内容も公表し、更なる質の向上に努められたい。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の訪問は多い。家族には2ヶ月に1回「たより」を発行し、利用者一人ひとりの暮らしぶりも一緒に伝えている。訪問時やその時々、家族からの話しを聞くようになっているが、今までに苦情は1件あり、苦情への対応で終わりでなく、全職員でのスタッフ会において発生要因を探り、課題を検討し質の向上に努めている。なお家族同士の集まりはあるが、更に意見が出しやすい仕組み作りとして、家族会を設立することを期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会には加入していないが、自治会費は支払っている。2か月に1回地域の回覧板にてホーム便りを回覧し、地域の方の訪問・見学も徐々に増えつつある。今年は地域の草刈りや溝掃除にも参加の予定である。今後、地域の一員として、自治会にも加入され、地域との連携が更に深まることを期待する。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [全職員で検討した独自の理念を作っている。] <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 [○	地域密着型サービスの意義を全職員で確認し、地域生活の継続を支えるための理念の作成を望む。
	2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [月1回のホーム会や毎日のミニカンファレンス会の時に意識づけを行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [声がけや態度に「元気で楽しく自分らしく生きれる」との理念が反映されている。]		
2. 地域との支えあい					
	5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 [自治会には入っていないが、自治会費は支払っている。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [小学校や地域の運動会に参加したり、地元の人々との交流に努め、地域行事への参加も計画している。]	○	地域の一員として、自治会に参加され、さらに地域との交流が深まることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	<input type="checkbox"/> 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [全職員でホーム会時に、外部評価の意義及び自己評価について話し合い、自己評価に取り組んでいる。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [評価で見出された課題は、次の日のミーティングで報告し、次会のホーム会で全職員で改善に向けて話し合い、改善計画も立てている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔 〕	○	自己評価・外部評価の内容を説明し、また外部評価結果を報告することで、委員からの意見を反映させ、改善に向けて取り組んでいくことが求められる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔行政から筋力アップ体操の講座の依頼を受け、地域包括支援センターの保健師を招き、ホームで地域の方達と筋力アップ体操に取り組むなど、連携と交流を図っている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の面会は多く、利用者の状況をその都度伝え話し合っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔2か月に1回「たより」を発行し、利用者一人ひとりの暮らしぶりを担当者が記入して家族に伝えている。写真は、家族の来訪時に見せている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔身体の変化についてはその都度、電話連絡を行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔毎月末に、使途明細をレシートと共に報告している。家族の確認(印)の方法を検討されたい。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔過去1件の苦情があり、家族との話し合いにより納得して頂いたが、苦情への対応で終わりではなく、全職員出席のスタッフ会で発生要因を探り、課題を検討している。第三者委員会も設置している。〕	○	家族同士の集まりは出来ているが、更に意見が出しやすい仕組みづくりとして、家族会の発足などを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔今まで職員の希望で2名の交替があったが、管理者は最小限となるよう努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔職員が代わる時は、新旧の職員が重なるように配慮し、スムーズに移行できるように対応している。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔管理者、職員共に研修の大切さは認識しており、年間を通じて研修会や会議に参加している。。パート職員も今年の計画から参加予定である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修内容は、月1回のケア会で報告し、全職員で共有している。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔法人間の管理者の交流はあるが、職員は同業者と交流する機会がない。〕	○	現在、近隣のグループホーム職員との交流を検討中である。サービスや職員の質向上に繋がる交流を行うことが重要である。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔本人や家族に、事前にホームの見学や一緒に食事をしたり、レクリエーションの体験をもらっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔職員は、人生の先輩として、利用者から四季の習わし・諺・おはじき等教わる関係にある。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔生活歴や日常の会話から、本人の希望の把握に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔全職員の意見交換やモニタリング、毎日のミニカンファレンスにより早めの対応ができています。〕		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔本人の状態の変化時には、その都度、担当職員、ユニットリーダー、計画作成職員と、家族や本人の希望を聞き見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔看護師による24時間の連絡体制が出来ており、医療処置を受けながら生活できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔重度化した場合や看取りに関する準備が出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔 〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔緊急時以外は、本人のかかりつけ医を受診している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔通院は原則として家族にお願いしているが、不可能な時には職員が代行するようにしており、利用契約時に説明し同意を得ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔検査データも含めて連絡が行われている。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔重度化及び看取りについての指針を定めており、必要な方とは入居時に話し合いを行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。 〔該当者はいないが、体制等の準備は整っている。〕	○	すべての方について重度化及び看取りの指針について話し合いを持たれることを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 〔食事中やトイレ介助の際に、さりげなく対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 〔月1回のスタッフ会で職員に徹底している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔スタッフ会でも徹底し理解している。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔一人ひとりに合わせた散歩や買い物等の支援が行われている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔一人ひとりの体調に配慮しながら、利用者のペースに合わせた支援を行っている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔メニューは、利用者と相談して当日に決める時もあり、当日出来ない場合は次の日にしたり、また食事の準備、下膳は出来る方がされている。調理については、利用者同士のトラブルもあり、あまりしていないとのことだが、今後も継続して検討されたい。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔 〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔生活歴、心身の状況を考慮して楽しみを把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔食事作り・編み物・壁飾りを作ったり等場面を設定している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔得意分野で一人ひとりの力を発揮できるよう、また出来そうな仕事を頼み、「ありがとう」の感謝の言葉を伝えるようにしている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔行きつけの美容院に行ったり、買い物支援も行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車いす利用者の方も他の方向同様、戸外へ出ることを行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔散歩は日常的に行われ、ドライブにも出かけている。訪問当日も、利用者の希望でブドウ狩りに行く計画をしていた。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して対応している。 〔外出傾向のある方もいらっしゃるが、30分毎のチェック、職員の声かけで対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔定期的に避難訓練は行っているが、地域住民の協力を得た訓練は実施していない。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	運営推進会議でも、協力を求めるなど、地域住民と協力体制の構築が求められる。また、非常用食料、備品の備蓄が早急の課題である。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔献立はそれぞれのユニットで考え、希望が出たときはできる限り対応するようにしている。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕	○	栄養面については専門的観点から、定期的にチェックすることが求められる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔ゆったりとした広めのフロアには、使いやすいソファや畳の部屋があり、また廊下は中庭を眺めながら休めるようになっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔日当たりよく、清潔感のある空間となっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔中庭の木々、ウッドデッキでおやつを食べたり、季節の花を飾ったりしている。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔家族と相談して、テレビ・鏡台・タンス・仏壇・写真等馴染みの物が置かれ、個別に工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔入所時に家族と相談、居心地よく過ごせる居室作りに努めている。〕		